

# 原発再稼働ストップ



# 金曜行動 3月5日

文翔館前でアピールする参加者―山形市



## ◇山形 各地と連帯して

早春の夕暮れ時、今年初の脱原発ウオーキングのスタンディングが、山形市文翔館前で行われました。連日の冷え込みにもかかわらず、脱原発めざして新たな決意で市民にアピールしました。

山形・幸せの脱原発ウオーキングの石沢光博共同代表は「東日本大震災の余震が続く中、女川原発再稼働



「400回到達」のプラカードを先頭にデモ行進する参加者―新潟駅前

反対運動をはじめとする全国各地の運動と連帯して、ウオーキングやスタンディング行動で市民に訴えた」と決意を述べました。

## ◇新潟 訴えつづけ400回

なくそう原発・新潟市民ネットは、新潟駅前で16人が参加して400回目の金曜行動をおこないました。参加者は、「国と電力業界は原発再稼働のために経済産業省幹部が1年で80回も来県して圧力をかけているが許されない。柏崎刈羽原発で重大な不祥事が相次ぎ東京電力に原発は任せられない」「福島原発事故以前から原発の安全性の検証に加わっていた県技術委員を、県が経過をゆがめて解任するのはおかしい。再稼働ありきの動きだ」と訴えました。

事務局から11日実施予定の一斉スタンディングと首都圏反原発連合に感謝の曲を贈ることが報告され、参加者から「花角英世知事は、再稼働の是非の判断には県民の信を問うと公約していたのに、県議会に諮るだけで判断すると姿勢を変えた。県民の信を問えと求める県民署名を大きく成功させよう」と呼びかけがありました。

集会後に参加者は、「400回に到達」の看板を先頭にデモ行進に出発しました。

## ◇水戸 事故風化させぬ



水戸市の日本原電茨城事務所前で、394回目の金曜行動の参加者ら―水戸市

「原電いばらき抗議アクション」が取り組まれ、約20人が東海第2原発（東海村）の廃炉を呼びかけました。参加者は福島原発事故から10年を迎えるにあたり、一日も早い原発ゼロ社会の実現を力説。「事故を風化させず、二度と地域を失うことがないように原発の廃炉を訴え続けていきたい。運動を広げ、原発のない茨城をつくろう」などとリレートークしました。

# 原発事故から10年 フクシマを忘れない行動 3月11日



プラカードを掲げアピールする参加者―11日、新潟県長岡市

## ■新潟

東京電力柏崎刈羽原発が立地する新潟県柏崎市で毎年集会を開いている「なくそう原発・大集会」実行委員会は11日、新潟県内と群馬県前橋市の計18カ所で一斉にスタンディング宣伝を行いました。昨年9月に続く2回目。

参加者は、東日本大震災の地震発生時刻に照らし、原発再稼働を許さず廃炉を目指すアピール文を確認。「福島を忘れない」「再稼働許さない」などのプラカードや横断幕などをかかげました。

新潟市古町商店街では約40人が参加。各分野の代表らがマイクを握り、「被災地の生活・営業再建は道半ば。被災者への直接支援の充実、原発依存からの脱却と再生可能エネルギー活用拡大を」と訴えました。

新潟市西区では80人が参加し、県技術委員の立石雅昭・新潟大学名誉教授らが訴え。長岡市では105人がスタンディング宣伝後に市内をパレード。上越市では69人が参加して風車を手に再生可能エネルギーへの転換を呼びかけました。

日本共産党の、たいらあやこ衆院北陸信越比例・新潟2区重複候補は柏崎市で、遠藤玲子県議は新潟市で行動に参加しました。

行動の動画・写真は「なくそう原発 福島原発事故から10年」のフェイスブックで紹介。アピール文は新

# 原発なき未来へうねり

潟県内の全首長と首相、東電社長などに送付し、6自治体と面談を行います。

## ■山形

日中との気温差が大きく厳しい冷え込みの中、原発たぐさんだhaaー県民アクションは11日夜、「国と東京電力が最後まで責任をもつて対応すること」「安全・確実な廃炉」を求め、さよなら原発ウオークの横断幕を掲げて、山形市内をデモ行進しました。

また、幸せの脱原発ウォーキングは同日、東北電力山形支店前を含む2カ所でスタンディングを行い、(ストップ原発再稼働)を掲げ、市民にアピールしました。

## ■栃木

原発ゼロ栃木の会と市民が12日、宇都宮市二荒山(ふたあらかま) 神社前で金曜行動を行い、12人が参加しました。フクシマを忘れない

「原発再稼働NO!」と横断幕を掲げ、通行人にアピールしました。

## ■茨城

茨城県牛久市のJR牛久駅東口で12日夕、345回目の「駅前反原発集会が開かれ、約20人が日本原子力発電東海第2原発(東海村)の廃炉を呼びかけました。福島原発事故から10年を迎えるにあたり、参加者は「つなごう福島」「原発のない未来へ」などのプラカードを掲げてアピール。リレートークで「原発事

故を経験してもなお東海第2再稼働の動きがある。10年の節目で再出発の気持ちで原発廃炉を訴えていきたい」と訴え、「東海第2は今すぐ廃炉」などとコールを響かせました。

大分市の九州電力大分支店前で11日、連日抗議のスタンディングを続ける島田雅美さん(74)が「国、電力会社は再稼働とより危険



九州電力大分支店前でスタンディングを行う島田さん(右)ら=11日、大分市

## ■大分

大分市の九州電力大分支店前で11日、連日抗議のスタンディングを続ける島田雅美さん(74)が「国、電力会社は再稼働とより危険

なプルサーマルに前のめり。10年を経ても悲しみは深く、怒りがこみあげてきます」と訴えました。2011年7月からほぼ毎日続けてきたスタンディングは3509日目。「福島事故は終わっていない。原発がある限り、気を緩めることなく立ち続けたい」と話しました。賛同する市民らも駆けつけ、「原発いらぬい」などと書いたプラカードを掲げました。

## ■兵庫

東日本大震災・福島原発事故から10年の11日、兵庫県労働組合総連合と原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会(原発をなくす会)は神戸市元町大丸前で「イレファンアクション」にとりくみ、原発ゼロを訴えました。

「原発をなくす会」事務局の速水二郎氏(元関西電力社員)は「あれだけの被害を出して、東京電力は全く罰せられていない」と告発。「福島原発事故はいまだに収束しないうえ、菅政権はぼう大なトリチウム汚染水を海に流そうとしている。関西電力は、原発は40年でやめるという40年ルールをふみにじて。ことしにも若狭湾の老朽原発を動かそうとしている」として、「原発事故を風化させず、原発をなくすために声を上げよう」と呼びかけました。兵庫労連の岡崎史典事務局長は、「原発ゼロ基本法の早期成立で福島の真の復興を」と訴えた、ふくしま復興共同センターによる「福島からのメッセージ」を紹介。県保険医協会、原発ゼロの会西宮、新日本婦人の会県本部、兵庫連、兵庫労連の代表も訴えました。

### ■ 愛媛

愛媛県の伊方原発をとめる会は11日、「福島を繰り返さない！伊方原発いらぬ！3・11愛媛集会&デモ」を松山市で開催し、約150人が参加。「伊方原発3号機の廃炉と再生可能エネルギーへの転換を強く求める」との集会宣言を採択しました。

須藤昭男事務局長は「私は、3・11を契機に、原発はいいものだと思っていた考えが百八十分度転換した」と訴えました。

県職員労働組合の宇都宮理書記長、愛媛労連の今井正夫議長、原発さよなら四国ネットワークの大野恭子さんが発

### ■ 香川

原発をなくす香川の会と脱原発アクションIN香川、県の原水協と原水禁は11日、JR高松駅前で原発廃炉を求めて集会を開き150人が参加しました。

原水協の樗昭二筆頭代表理事、原水禁香川の高田良徳議長、原発をなくす香川の会の林俊夫共同代表、脱原発ア

クシヨンの溝渕裕子代表がリレートーク。「菅政権は10年を区切りに復興支援を打ち切ろうとしている。許せない」「野党共同提出の原発ゼロの基本法を実現させよう」「金曜行動を毎週しています。市民一人ひとりの声が原発を止めます」などと訴えました。

参加者は四国電力本店前で進行し、「すべての原発廃炉」「未来を壊す原発廃炉」とシュプレヒコールしました。

中国電力島根原発を抱える松江市の松江駅前11日夕、「フクシマを忘れない！原発ゼロに進もう」とのスピー

### ■ 島根

ルが行われました。金曜日行動実行委員会が呼びかけたもので、25人が参加しました。

同市で2012年7月末に始まった金曜行動。ほぼ参加する西尾幸子さん(88)は広島島の学生だった戦中、原爆で同級生223人が亡くなり、島根原発は自宅の約6キロ先です。西尾さんはリレートークで「核兵器も原発も人間が造ったもの。なくせないはずがない」と指摘し、「政治を動かすのは市民の力です。市民の大きな力で島根原発2号機の再稼働はさせない。頑張り抜こう」と訴えました。

日本共産党松江市議団が参加しました。



デモ行進する参加者＝奈良市

金曜行動 3月19日

◇奈良市

3カ月ぶり再開

「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前でありました。この間、コロナ感染拡大のため中断していましたが、3カ月ぶりに再開。「待ちに待った」人ら19人が参加しました。418回目です。

コール担当者が「原発ゼロをめざす14日の奈良の集いに700人が参加し、福島県での子どももの検診で通常の250倍の甲状腺がんが見つかったことが報告された」と話しました。参加者は、関西電力奈良支社前までデモ行進しました。



原発をなくそうと呼びかける参加者―前橋市



◇前橋

原発ゼロ法こそ

原発をなくす前橋連絡会は、前橋市の前橋駅北口で423回目の宣伝に取り組みました。

連絡会の大川正治事務局長が、原発事故は、放射能汚染で仕事も家族も地域も奪うと指摘し「原発をなくして、子や孫が安心してくらせる社会をつくろう」と呼びかけ。川上るり氏が「原発が出すプルトニウムは原子爆弾の材料。原発廃止は平和運動でもありません」と話しました。

渋川・北群馬原発をなくす会の今野義雄事務局長は「野党が提出した原発廃止

法案が審議されない。みなさんの一票で原発をなくす議員を国会に送り、成立させよう」、日本共産党の酒井宏明県議が「原発ゼロは実現できる。力を合わせよう」と訴えました。

◇金沢

原発シール投票

石川県志賀町の北陸電力志賀原発の廃炉を求める「どいね☆原発」は、金沢駅東口(兼六園口)で約20人が参加し、休止前最後の423回目の抗議行動(スタンディングとシール投票)をしました。

「志賀原発NO!」と書いた大きなパネルを広げてアピール。「原発ゼロ」「さよなら原発」のぼりを立て、原発「いる」「いらな

い」のシールアンケートを呼びかけました。

観光客など駅利用者が足を止めシール投票に応じました。子どもを連れて観光に来た東京都の女性は「廃炉に何十年もかかる原発は『いらぬ』と話し、別の女性には「核廃棄物の処理ができません。核と人類は共存できない。核と人類は共存できない」と、「いらぬ」にシールを貼りました。男女カップルは「原発はどこをとってもいいところが無い」と話し「いらぬ」にシールを貼りました。

デモ行進する参加者―奈良市



◇奈良

“東電資格ない”

419回目の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前でありました。

コール担当者が、東電柏崎刈羽原発で不正入室や工事の未完了が発覚するなど不祥事が続発していることについて、「安全軽視で事故の反省をしていない。東電には原発を扱う資格も能力もない」と訴えました。

17人の参加者が「原発いらぬ」「再稼働反対」とコールしながら関電奈良支社前までデモ行進。その後の交流会で「老朽原発うごかすな高浜全国集会」に参加した人から集会の報告がありました。

